

主な記事	
2・3面	2023人員確保闘争・現業統一闘争 (第1次闘争) 2023ジェンダー平等推進・多様性尊重学習会／都本部臨時・非常勤協議会学習会 都本部都市公共交通協議会「くらしをささえる地域公共交通確立キャンペーン」 都本部・自治体議員連合 第32回臨時総会 私のおすすめ (自治労東京都庁職員労働組合 執行委員長 鎌滝 裕輝)
4面	2023年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会東京都代表決定戦

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部 発行
企画 総務局
責任者 松村 誠治
編集者 須崎 崇文
1部10円(但し組合員は組合費を含む)

都本部2023ジェンダー平等推進闘争

多様性を認め合い、働きがいのある職場・社会の実現へ

都本部は2023ジェンダー平等推進闘争の統一行動日を7月21日に設定し、全単組で交渉を強化する。ジェンダー平等は社会における重要なテーマだ。性別による差異や、性的マイノリティが受ける差別を解消し、誰もが安心して生活し、働き続けられる社会をめざす。私たちの職場からジェンダー平等社会の実現を進めていく。

都本部のめざすジェンダー平等にむけた2023闘争では、8点の重点課題を設定した。自治体が自ら定めた特定事業主行動計画の一層の推進、長時間労働の縮減、男性の育児等休暇の取得促進、ハラスメント対策、性的マイノリティが職

場で働く中での格差・困難を解消する取り組みを推進させる。2022年7月、女性活躍推進法に基づく省令が改正され、自治体でも男女の賃金比較の公表が2022年度実績から義務付けられた。自治体では採用、昇

全国から募集された自治労2023年度男女平等推進キャッチコピー

●取り組み強化及び要求書提出ゾーン	5月24日(水)～7月7日(金)
●回答指定日	7月14日(金)
●交渉強化ゾーン	7月14日(金)～20日(木)
●統一行動日	7月21日(金)

任、昇格、職場異動などの制度が男女間で変わることはない。しかし、運用状況が異なることで差異が生じる場合がありうる。分析により、女性の職業選択における活躍の推進のため

の取り組みを進めること。ジェンダー平等にはワークライフバランスが重要

が必要とされている。労働組合において、実態把握と差異の解消にむけた取り組みを進めさせること、その姿勢を引き出していくことが重要だ。

環境の整備を進めていくことが本場の「取得の促進」につながる。6月には人員確保闘争を進め、配置人員の増員による長時間労働の是正を求めた。ワークライフバランスの実現はジェンダー平等課題の解消も含め、様々な課題の根底であることを当局に認識させなければならぬ。このジェンダー平等推進闘争をたかひいぬ

7月は安全衛生月間 組合の視点で労働者の安全を守る提言を

自治労は、労働災害撲滅と快適職場の実現をめざし、毎年7月を「安全衛生月間」と位置づけ、全ての職場での安全衛生点検活動を進める。現場では長時間労働の増加や、カスタマーハラスメントの影響など、業務負担が増える中、心身の健康を守るためにも、安全

全衛生活動に積極的に取り組むことが重要だ。昨年の自治労「安全衛生月間」の取り組み報告では、全国の自治体で安全衛生委員会を設置しているもの、開催回数については、年1回から4回に留まれていることが明らかとなった。しかし、本来は労働安全衛生法に基づき、事業者の責任において労働時間内に毎月1回以上、委員会を開催しなければならない。安全衛生委員会設置の要因は、日常業務に忙殺され、安全衛生に対する配慮が希薄になりがちといったことが挙げられる。労使が定期的に職場巡視を行うなど、改善箇所を見つけ、健全な環境を維持することが重要だ。長時間労働の是正については安全衛生委員会を通じて安全衛生月間「安全衛生月間」を推進する。安全衛生月間「安全衛生月間」を推進する。安全衛生月間「安全衛生月間」を推進する。

て人員確保要求につなげていくことが重要だ。その他、課題を洗い出すために労働組合内部にも専門組織を設置するなど、課題の是正にむけた労使交渉と各事業所での委員会活動を車の両輪としながら、働きやすい環境が構築されるよう注力していかねばならない。「安全衛生月間」を絶好の機会ととらえ、労働組合がリーダーシップをもって取り組んでいきたい。

意見交換で話を始めると参加者同士、想像以上に盛り上がり、時間が足りず次回への参加を希望する声も多く寄せられた。

女性部 第1回女性労働カフェ 「なぜ女性の私が組合役員になったのか話そう」

都本部女性部は6月6日、中野サンプラザにて第1回の女性役員むけセミナー「女性労働カフェ」を開催した。組合役員にはまだ男性が多いという現状を踏まえ、女性が組合へ参加する意味や意義を共有し、単組の枠を超えた女性のネットワークづくりをめざし、今年も計3回開催する。各会ともテーマレクチャーの後、グループで意見交換という流れだ。今回は「なぜ女性の私が組合役員になったのか話そう」をテーマに、レクチャーでは日本のジェンダーギャップ指数や執行部に女性が必要な理由に触れ、「多様性は組織に必要不可欠。女性は最大のマイノリティ」と言われ、マイノリティの視点が多様性を生み出す。組織の意識が変わる分岐点は30%、組織に『もう一人』女性を増やす努力を」と説明された。その後、参加者からは自らが組合役員になっ

たきっかけについて、「生理休暇取得促進など、女性役員を増やさなければ職場環境を変えることができないと感じたから」「より良い労働条件を確立したかったから」といった様々な思いが打ち明けられた。さらに、課題に感じていることとして、「出先職場の役員が多く執行委員会の成立が難しいことがある」「女性役員が自分一人だと声をあげづらい」といった悩みも声も聞かれた。最後は、岩田女性部長(八王子市職)から第2回女性労働カフェへの参加をお願いし、終了した。

東奔西走

趣味でロードバイク(自転車)に乗るようになってから、かれこれ5、6年くらい経った。始めた当初から乗っているロードは7万円で購入した。7万円という購入価格はかなり高額だが、乗っている人からすれば代わりたいたいな価格である。私は道具に無頓着なので、今までの通算でロード関連費用は車両代含め10万円もかかっていないと思うが、このわずかな支出で得られるものは存外大きかった▼驚いたのが、かなり遠い距離も1日で走れてしまうことだ。江戸島や羽田空港など、車や電車で行く以外の選択肢がないと思っていた場所にも朝8時に出て夕方4時くらいには帰宅できる。しかもガソリン代、高速代無しである。現地でのご飯も美味しく安くて充実した1日を満喫でき、良い趣味となっている▼今後もゆるゆると自転車を楽しみたい。ちなみにロード乗りが今日は「ゆっくりに」とか「ゆるボタ」とか言っていることがありますが100%嘘ですので乗り始める方はご注意ください。(岡崎)



6月の男女平等月間の取り組みはコチラから

●自治労 政府要請	●都本部の 取り組み

都本部ホームページはコチラから 機関紙電子版も!

組合員ページパスワード tohonbu

2023年関東甲地区自治体職員等 スポーツ大会東京都代表決定戦

野球大会

港区職労・大田区職労・ 西東京市職労が関東甲大会へ

6月10日、都本部は2023年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会(野球)東京都代表決定戦をあきる野市民球場にて開催した。港区職労、大田区職労、西東京市職労、東村山市職労、東京清掃労組、東京交通労組の6チームが参加し、熱戦が繰り広げられた。通常、東京から関東甲大会へ出場できるのは2チームだが、今年は関東甲大会の開催地が東京であるため、開催地枠として1チームを加えた計3チームが出場できる。その結果、港区職労、大田区職労、西東京市職労の3チームが勝利し、8月16日〜17日にかけて東京都で開催される関東甲大会への出場権を手にした。

第1試合 0-5

東京交通労組vs港区職労
4回まで両者互いに得点を許さない状況。試合が動いたのは5回。港区職労が2点を先制し、6回にも3点の追加点を挙げた。東京交通労組も奮闘したが0-5で港区職労が勝利し、昨年に引き続き関東甲大会への出場を決めた。

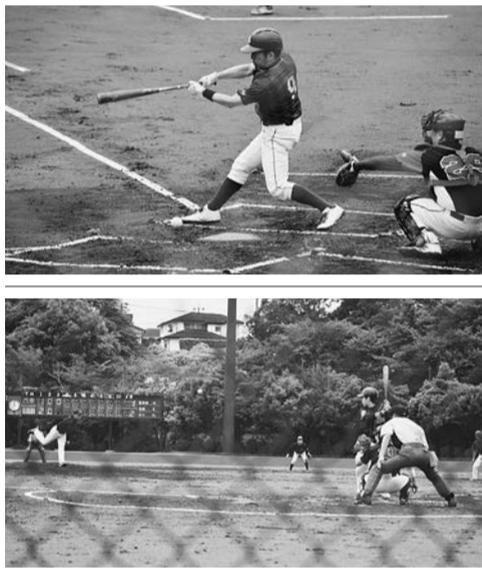
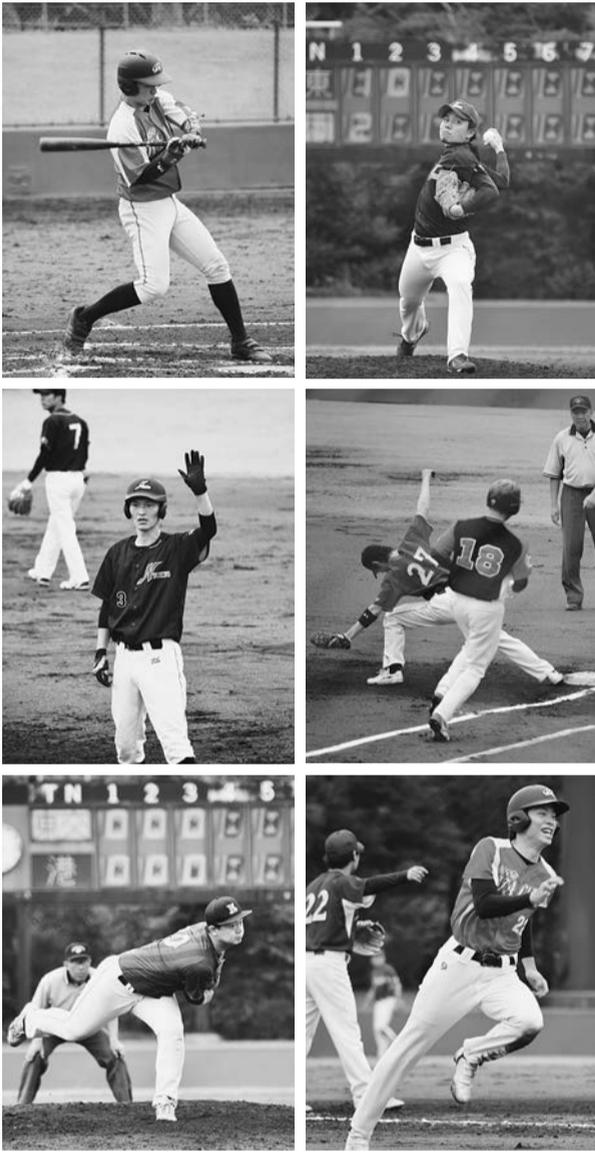
第2試合 4-2

西東京市職労vs東村山市職労
西東京市職労が1回に1点を先制すると、東村山市職労もすかさず1回に2点を挙げ逆転する。5回には西東京市職労が3点を挙げて再度逆転を果たす。東村山市職労も奮闘するも、既定の試合時間を超過したことから6回で終了となり、

第3試合 0-10

東京清掃労組vs大田区職労
2回に大田区職労が6点を先制する展開から、3回に1点を追加。さらに5回には大田区職労が本大会で初となるホームランを放ち、3点を追加。その間、

東京清掃労組も出塁するも、既定の試合時間を超過したことから5回で終了となり、0-10で大田区職労が勝利。関東甲大会への進出を決めた。



バレーボール大会 自治労都庁職、中央区職労が 関東甲大会に進出

6月17日、都本部は2023年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会(バレーボール)東京都代表決定戦を八王子市役所職員会館で開催した。4年ぶりの開催となった代表決定戦には自治労都庁職、中央区職労、

八王子市職、調布市職の4チームが参加し、リーグ戦を行った。

第1試合は中央区職労と調布市職の対戦。中央区職労が2セットを連取し勝利した。第2試合は自治労都庁職と八王子市職の対戦。

自治労都庁職が2セットを連取し勝利した。第3試合は中央区職労と八王子市職が対戦。八王子市職がデュースを持ち込みながら1セットを先取るも、その後中央区職労が2セットを連取し、中央区職労が1時

間以上におよぶ激闘を制した。続く第4試合では自治労都庁職と調布市職が対戦。調布市職がくらくらいついたが、自治労都庁職が2セット連取により勝利した。

第4試合を終了した段階で上位2チームが確定したことから、4チームの合意のもと、代表決定戦を終了した。

今大会の結果、自治労都庁職、中央区職労の2チームが、9月7日〜8日に千葉県で開催される関東甲大会への出場権を獲得した。

各試合の結果

第1試合 中央 2-0 調布 21-10 21-12	第2試合 八王子 0-2 自・都庁 14-21 18-21
第3試合 中央 2-1 八王子 22-24 21-10 21-10	第4試合 調布 0-2 自・都庁 14-21 19-21

さらに今年は、関東甲大会を勝ち抜いた3チームが12月2日〜4日にかけて和歌山県で開催される全国優勝大会に出場することとなる。

